

桃谷地域では地域活動が活発で、10月7日に催された「空堀・桃谷ふれ愛まつり」でも、地区のいろんなグループが参加。そんなメンバーの一つ「桃谷悠悠会」について、会長の原田さんから手記を寄せていただきました。

桃谷連合で7年前に産声を上げた小さな会「桃谷悠悠会」があります。

桃谷連合の一部の人達しか知らない会ですが、会の趣旨は、子ども達に目線に向けて、中央小学校や上町中学校の子ども達



を守つていこうとの事です。もう一つは次期リーダーの発掘と育成です。

発足当時は、小学校のわいわい祭りなどでチョコバナナを1200本無料で配布。「桃谷・空堀ふれ愛まつり」ではポテトフライを無料配布したり、何にでも使える金券を無料配布したりして来ました。

また、ふれ愛まつりや区民まつりにバザーを出店し、子どもの目線で活動をしてきています。

この子ども達が知らぬ間に大きくなり、いつか我々をリードしてほしい、この願いを常に持ちながら、今後も活動を続けて行きたいの思いがあります。

悠悠会は当初会費ゼロで出発してきましたが、大きな収入源でありましたバザーが品物の減少で昨年取りやめとなり、現状では赤字に転落しています。

今後は月会費一口100円会費で再生を図る考えです。

最近の活動は、8月に富士山に登りその話を『今様夜話』として、9月29日に桃谷会館で行いました。これは今後シリーズとして、続けて行きたいと思つていきます。次回は12月に季節の話題で、催したいと考えています。

空堀商店街を中心に、多くのグループが出来ていますが、その人達とネットワークを持ちながら、地域の人材そして宝「子ども達」を見守って行きたいの願いを強くしています。今後共「桃谷悠悠会」を見守って下さいませよう、お願いいたします。

(桃谷悠悠会会長 原田壽幸)  
連絡先…(原田宅)  
TEL 06・6763・0797  
FAX 06・6763・0791

※参加は主旨に賛同する人は誰でも。

## 地域の子ども達を守ろう

「桃谷悠悠会」の活動について

# からほり新聞

第25号  
(2012.11.21)

### 「空堀界隈をご散策される皆様へ」

◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。  
◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。  
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

### ☆編集後記

◆もう早年末！今年こそからほり新聞4回発行と意気込んでいたのに！(ケラコ)

◆ミニお空堀まつり!! ミニまつりだったが、なんやかんやで大きくなってきました。商店街のお楽しみ企画や共催イベント盛りだくさんです!! ぜひぜひお越しください☆(山本のお)

◆今年もあとわずか、年々二年の長さが短くなる？ 子供の時はウンと、若い時はモット長かった。(や)

◆ある大学の購買担当者が20個のプリンを発送した。200倍の4000個が届けられた。学生が普段と違う担当者に声を掛け誤発注がわかり、ツイッターで呟いた。それが次つぎと連鎖してその日のうちに売れた。今の情報社会と若者の思いやりがこの現象を創ったのだろう(矢)

### マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさん」で教室をしています。見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。  
指導：北口 桂

## 「からほりさん」News

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

### ■大阪文学学校 特別講座 ①

▶日時：1月19日(土)午後4時～5時30分▶講師：福本武久(作家/13年NHK大河ドラマ「八重の桜」のタネ本の著者)▶木戸銭：1500円(一般)

### ■文学講演会②(主催・大阪文学学校/共催・大阪市)

▶日時：3月3日(日)午後2時～4時▶場所：未定▶講師：万城目学(作家/空堀商店街も舞台になった映画「プリンセス・トヨトミ」の原作者)▶木戸銭：無料▶問い合わせ：①②共、電話06-6768-6195

### 年末のお買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

### 高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階  
(おとうふ屋さんのおとなり)  
TEL&FAX 06-6764-4002  
月～金(10:30～15:00)  
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp  
ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

### 「箏・三絃」教室

箏曲：生田流 三絃：九州流

門脇 裕子 稽古日：相談 月謝：5,000円  
TEL 06-6761-6189



空堀商店街からそぞろ歩いて5分、熊野街道のルートだった五十軒筋に面し、戦火を免れた風格のある町家が残っている一角にある「楓ギャラリー」。粋

な黒塀に心惹かれながら中に入れば、知り合いの家を訪れたような雰囲気包まれる。古き良き時代の下町の風情を漂わせているこの街で、隣近所の人達から、「コイちゃん」と呼ばれ可愛がられて大人になった三島さんは、町家や長屋が時の過ぎゆくままに姿を消していくの心を痛めていた。「古い町家の魅力をたくさんの人に知ってもらいたい」との思いから集う人達が和めるようなギャラリーを開きたいと思い立った。三島さんが美術の道に進む

きっかけになったのは、追手門学院高等学部美術コースで市川洋先生の師事を受けたことから。その後、美術系の大学を卒業し、時間があれば美術館や画廊を回っている作品に触れ、時代の今、を吸収してきた。「楓ギャラリー」のコンセプトを「木と風の見えるギャラリー」として、現代美術から現代工芸までの作品が映えるように、内装はオフホワイトの壁と天井、そして温もりのある木の床を採用。そのモダンな空間で、平面・立体・工芸などの幅広いジャンルの作家たちが、継続的に作品展や個展を開催。また、四季の移ろいを感じることでできる庭も展示スペースに活用されている。

●12月の楓ギャラリーのスケジュール  
 ▼日時：11月27日(火)～12月9日(日)  
 内容：奥田美恵子(陶) 生まれ出ずる場  
 ▼日時：12月11日(火)～16日(日)  
 内容：城野秀紀 個展 (平面、油彩)  
 ※12月17日(月)～2013年2月4日(月)まで冬季休廊

快傑！からほり人

快傑ファイル其の二十

街と作家とお客様に

ギャラリーも私も育てられた

楓ギャラリーのオーナー

三島啓子 さん

パブル景気の余韻も消えつつあった1994年10月23日、築100年を超える町家の自宅離れにあった茶室を改装して、「庭のあるギャラリー」をオープンした三島啓子さん。「人も文化も息づいている街の中からアートを発信していきたい」という思いは大きく開花し、人に愛され、「遊空間」として親しまれている。

っかけになったのは、追手門学院高等学部美術コースで市川洋先生の師事を受けたことから。その後、美術系の大学を卒業し、時間があれば美術館や画廊を回っている作品に触れ、時代の今、を吸収してきた。「楓ギャラリー」のコンセプトを「木と風の見えるギャラリー」として、現代美術から現代工芸までの作品が映えるように、内装はオフホワイトの壁と天井、そして温もりのある木の床を採用。そのモダンな空間で、平面・立体・工芸などの幅広いジャンルの作家たちが、継続的に作品展や個展を開催。また、四季の移ろいを感じることでできる庭も展示スペースに活用されている。

空堀界隈で生まれ育ち、持ち家に住み続けながら、街とリアルな関係を紡いでいる三島さんは、所有している長屋の空き部屋を若い人達に、活動の場として提供して使ってもらっている。そして古さと新しさの共存を大切にしている。人の力が再生される街にある都会のオアシスのようなギャラリーで、「暮らしの中でアートを楽しむこと」を心掛ける三島啓子さんのチャレンジは、刺激的に、のびやかにこれからも続いていく。(三井康栄)

商店街イベント2日間！ぜひご参加ください！

12月7日(金) 8日(土)

両日開催！

「ぜんざい・甘酒」各店自慢のあまからほり。  
 「わが店自慢の一品」発掘楽しいおたからほり。  
 「足湯・ぬくぬく雑貨・マッサージ」あったからほり。

協賛イベントも同時開催！

両日開催

自転車試乗会！ トンボ自転車に乗ろう！  
 第二回東日本チャリティー子ども寄席  
 子ども漫才・子ども落語

7(金)開催

ハーモニカ演奏  
 作家さん作品展 「空堀商店街を絵本に」作品展示

8(土)開催

からほりみんなアート 年賀状づくり/木工教室  
 バリィダンスショー  
 空堀子どもワークショップ  
 清水谷高校オーケストラ演奏

11月29日  
 から  
 12月8日  
 開催

高齢者+桃谷幼稚園の美術展  
 絵画、立体、色々な作品の展示

＜主催＞空堀商店街振興組合・空堀商店街協同組合・空堀通り商店街振興組合  
 お問い合わせ先：06-6777-6237  
 (空堀商店街 くるみ)

※FAX または留守番電話に連絡先とご用件をお願いいたします。折り返しご連絡いたします。

＜協賛＞  
 NPO 法人高齢者外出介助の会  
 空堀子どもまちづくりの会  
 からほり倶楽部  
 清水谷高校オーケストラ  
 高齢者+桃谷幼稚園児の美術展  
 CASE まちづくり研究室 販不

※商店街組合関係者以外の協賛イベントにつきましては出展、広告掲載費を頂いております。

ぶら\*  
 空堀  
 Mini  
 ま\*  
 つり  
 り

in 空堀商店街

# 水昌橋から水晶橋へ

「大阪の文学を読む会」で織田作之助の「世相」を取上げることになって、この作品が発表されたと同じ昭和21年3月発行の「大阪大地図」を広げてみた。戦災消失地域明細とうたつてい



るだけあって、敗戦のどさくさに出されたにしては割合正確に焼夷弾で焼け失せた私の昔の家の

この地図で気になるのは、堂島川にかかる大江橋の東の隣の橋が水昌橋となっていることだ。誤植かと思つて他の地図をあ

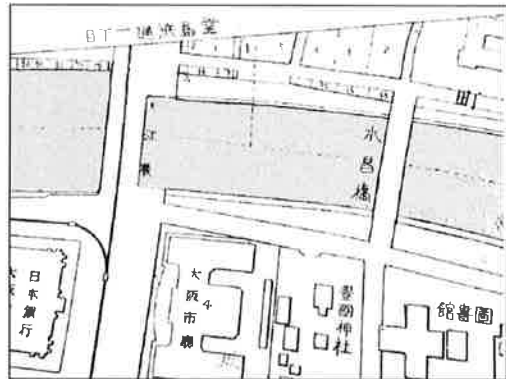
前、橋梁課へ電話して事情を訊いてみた。若い課員は親切に調べてくれたが、分からないという。

「昭和40年代までは昌と書いていますがそのあたりから日が3つの晶になっていきます。どうして晶に変わったのか、当時の担当者がいないので分かりませぬね」

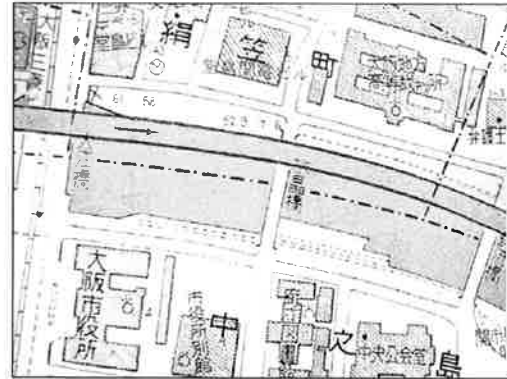
その当時わたしは、新聞などで事あるごとに水昌橋に戻すよう訴えた。波が輝いて水晶のように美しいとは後年のこじつけも甚だしい。

今ではわたしは諦めてしまつた。大阪は川も多くが埋められて、「水の都」とは縁もゆかりもない街になりおかせている。わたし自身、江戸を支えて繁栄のもとを作つた菱垣廻船が時空館に復元されているとは知つていても、遠すぎるという理由でまだ見に行つたこともない。「水の都」はわたし自身にとつても過去の存在になつてしまつているのである。では、今の大阪は何の都と称したらよいのだろうか。(福田紀一)

昭和6(1931)年地図



昭和48(1973)年地図



「大阪の文学を読む会」でユニークな世界が広がる!

## 車椅子で気がついたこと



ケラ子の介助日記

高齢者外出介助の会  
事務局長 永井佳子

時々1人で杖をつきからほりさろんに立ち寄られる婦人がいます。「ここを通るとなぜか寄つてみたくなるの」。数日後、くだんの婦人が娘さんに押されて車椅子で来られました。「おや?」一人では杖をついて歩かれるのに、家族と一緒に車椅子?誰でもですが頑張つて歩いていたので、いきなり車椅子は身体的にもまた気持的にも大きな変化があるように思います。いきなり介護者がつき、される側になるのです。介護保健の落とし穴のよう

「シニアカー」ってご存知ですか?町でたまに見かけますが、歩けなくても自力で動く選択肢にいかがですか?



車椅子から眺めてみれば

「ラクそうでいいね」エレベーターに乗り合わせたご婦人から声をかけられました。私は下肢障害で歩けないので車いすが必要ですが、普通の車いすと違って小さなスクーターのような便利な車いすを使っています。車いすだと気づかなくて言われたかも分りませんが、この一言はすごく気になりました。

「好きで乗っている訳でないのに」と複雑な気持ちになったり、「歩ける人の方がラクなのに」と悲しい思いをする車いすの人もいます。

「シニアカー」ってご存知ですか?町でたまに見かけますが、歩けなくても自力で動く選択肢にいかがですか?

「ラクそうでいいね」エレベーターに乗り合わせたご婦人から声をかけられました。私は下肢障害で歩けないので車いすが必要ですが、普通の車いすと違って小さなスクーターのような便利な車いすを使っています。車いすだと気づかなくて言われたかも分りませんが、この一言はすごく気になりました。

「好きで乗っている訳でないのに」と複雑な気持ちになったり、「歩ける人の方がラクなのに」と悲しい思いをする車いすの人もいます。

## 家庭教師

ワンランク上の学校も目めざせます。わかるまで丁寧に教えます。不登校、ひきこもりの指導もできます。

講師 甲斐 信行  
TEL 080-2715-1095 (担当:桑野)



## 地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日~12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入りの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp



# か ら ほ い 界 隈 お 散 歩 M A P

## 其の22

### ～空堀HOPEゾーンの修景と好きな風景偏～

谷町筋をはさんで東側の空堀を歩き推奨建物や修景をした家を探しました。結果はわたしの好きな風景を選んでしまっただようです。

歩いてみたら長堀筋沿いはもう古い家はなくなっています。街並みを残す活動にかわり大阪のド真ん中で昔の風景を維持する困難を思いました。

人は古いものに憧れを持ちます。それは懐かしい良き時を過ごした思い出に通じるからでしょう。



★ 楓さんの裏の石畳の風景



★ レンガづくりの長屋



★ 左右の長屋が切り取られ1軒に...



★ 東側で今もある冠木門



★ 陽だまり近辺の木造住宅群

